

チョウトンボ



なわばりをみはるオス(成熟した個体) ※左上の写真は休止するメス(成熟した個体)

【体長】 31～42mm

【特徴】 その名のとおり、チョウのようなはねをもち、ひらひらと飛びます。オスのはねは青紫色をしており、メスでは黒緑色をしています。メスはまれにオスのように、はねが青紫色をしたものもいます。

【見られる場所】 特に水草の多い水辺で見られます。産卵は水面や水辺の植物に、飛びながら腹の先を打ちつけて卵を産みます。

【見られる時期】 6～9月頃

【名前の由来】 「蝶トンボ」の意味。蝶のようにひらひらと飛ぶことにちなみ、名づけられました。

コシアキトンボ



なわばりをみはるオス(成熟した個体) ※右上の写真は羽化後のメス(未成熟の個体)

【体長】 41～50mm

【特徴】 オスでは成熟すると、腹の一部が白くなります。この白い部分は、メスや、オスの未成熟のものでは黄色っぽい色をしています。

【見られる場所】 水路などの少し水深がある場所を好みます。産卵は水面や水辺の植物に、飛びながら腹の先を打ちつけて卵を産みます。

【見られる時期】 5～9月頃

【名前の由来】 「腰空きトンボ」の意味。白くなっている部分を腰とみなして、その部分が白く空いて見えることに由来します。